

# 販売士・かながわ

(神奈川県販売士協会 会報・新春号) 第 26 号 平成 29 年 1 月発行

**明けまして  
おめでとうございます**



会 長 菅原潤一

ソニー学園湘北短期大学では、長年 3 級及び 2 級販売士検定試験対策の、「初級販売士総論」および「中級販売士総論」を担当させていただいていますが、2016 年後期には、加えて、「商品・販売企画論」および「ショップマネジメント論」も担当させていただき、講師を派遣しています。

販売士資格更新講習会も、現在、横浜商工会議所、相模原商工会議所に加えて、横須賀商工会議所の講習会にも講師を派遣することになり、質の高い、また資格更新される販売士の方々が満足される講習会を目指しております。

また昨年県外の企業からの問い合わせがきっかけで、出前講習会（企業内研修）を始めることができました。今後県内の企業にも積極的に働きかけていきたいと思っています。

今後私達販売士は、時代環境の変化の中で小売業、流通業さらにはサービス業で働く皆様のスキルアップ、啓蒙を通して、ビジネスの発展に貢献していきたいと考えています。そのためにも、より多くの販売士の方の、神奈川県販売士協会への加入をお待ちしています。

健やかな新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。昨年は、アメリカの大統領にトランプ氏が決まり、年明け早々の就任以降、国際情勢も益々混迷の度合いを増すものと思われまます。難民問題に端を發し、不安は広がる一方ですが、何とか安心して暮らせる年でありますように期待したいと思います。

2004 年（平成 16 年）の神奈川県販売士協会設立以来、会長として貢献されてきた谷口雅春氏から、昨年の総会でバトンを引き継ぎました。併せて、長年神奈川県販売士協会にご尽力いただいた山本顧問および研修の分野でご尽力いただいた平川理事も退任されました。

心細さもありますが、若い力で、今までの活動を継承しながらも、新たなチャレンジに挑んでいきたいと思っています。

新たに、研修を担当していただいている佐藤理事を中心に、リテールマーケティング（販売士）検定試験対策直前講習会では、実際の問題を細かく分析し、出題傾向を把握したうえで、的を得た指導を目指しています。公開模擬試験およびその解答・解説もお陰様で好評であり、合格率もほぼ 100%に近づいています。

## 新しい年を迎えて

(一社) 神奈川県商工会議所連合会  
専務理事 近藤 晶 一



皆様にはお健やかに新年を迎えられましたこととお慶び申し上げます。

さて、昨今の地域経済は一部持ち直しの動きも見られますが、個人消費の伸び悩みやインバウンド需要の頭打ちなどにより中小企業では依然厳しく、とりわけ深刻化する人手不足が課題となっています。

一方、産業界では、人工知能（AI）やIoTなどIT技術の進展により新しい動きが加速しています。例えば、コンビニ業界では、ITシステムで会計や袋詰めを自動で行う新型レジ「レジロボ」、さ

らに本年 2 月からは電子タグを使った実証実験も始まる予定です。店内の商品すべてに電子タグを付け、その情報を「レジロボ」が無線通信で読み取ることで、籠をレジカウンターに置くだけで合計金額が分かるようになります。

今後も、様々な環境変化が進むかと思いますが、販売のプロとして、小売・流通業界の健全な発達に貢献されることを願っています。

皆様にとって、幸多き年飛躍の年となりますようご祈念申し上げます。

### 「ららぽーと湘南平塚内覧会に参加して」

10月4日に神奈販会員の齋藤氏の斡旋により「ららぽーと湘南平塚」の内覧会に参加した。（正式オープンは10月6日）午前中のプレス用内覧会も参加できたが、都合で平塚市民も参加の午後からの参加となった。神奈販からは菅原会長、古澤、鹿又各理事、飯田の4名が参加した。大型アウトレット、また話題のお店が多くオープンと言うこともあり、多くの平塚市民が来訪していた。日産車体の湘南工場の跡地と言うこともありスペースは広く、中心は吹き抜け、通路も幅広く取っていた。店舗面積は約6万㎡、駐車場スペースは約3,500台。商圏は平塚市を始め、近隣の小田原市、大磯町、二宮町などで、



商圏人口は約35万世帯。今までのアウトレットと違うところは、GMSのイトーヨーカドーが隣接し、同系列のアカチャンホンポ、ファストファッションのユニクロ、GU、H&M等が入居していることである。特徴としては子育て世代を意識し、広いキッズパークがあり、「学ぶ！未来の遊園地」と銘打った「team Lab Island」など子ども関連の施設・お店が入居していた。また有隣堂の前には広いテーブルを多く置いたコミュニティスペース「SHONAN TREE HOUSE」もあり、人々が長く滞在しまた何度も来店してくれるような仕掛けが見られた。

（理事 広報・渉外・会計担当 飯田善明）



### 「11月の横商・販売士資格更新講習会(2・3級)で講義」

昨年11月29日(火)、横浜商工会議所主催の「販売士資格更新講習会」の第1回目の講習会の講師を担当させていただきました。

場所は、横浜商工会議所の大会議室で行われ、2級が66名、3級が40名、合計106名の方が参加されました。熱心な受講態度が印象的でした。

午前中は、2級の方を対象に、リテールマーケティングトレンド、マーケティングマネジメント実践

編等の話に加え、ダイバーシティ、インバウンドの動向についての話題を中心に話しました。午後は、2級および3級の方に、小売業のニュートレンド、売場づくりと販売促進の実践、新しい販売・経営管理知識の話に加え、オムニチャネルや移動スーパーの最新の動向について説明しました。

今後、さらに講習者の皆様のお役に立つ話を心がけたいと思っています。（会長 菅原 潤一）



### 「出張講義の実施」

11月27日・28日、12月20日・21日に、那覇空港で6店舗の物販店を経営するエアポートトレーディング株式会社様にて出張講義を行いました。

前回は、直前講習会であったため、2級、3級共に1日で実施いたしましたが、今回は、それぞれ3日間の日程をとり、講習会を実施することになりました。11月27日・28日に第1回講習会を実施しました。マーチャダイジングを上田氏、小売業の類型を佐藤が担当いたしました。12月20日・21日に第2回講習会を実施し、マーケティングを飯田氏、ストアオペレーションを佐藤が担当しました。両講習

会共に、2級は30名、3級は3名の方が合格に向け、熱心に学習されていました。

次回、第3回講習会は、2月1日・2日に予定しており、菅原会長と佐藤が講師を担当する予定となっております。(理事 研修担当 佐藤浩史)



### 「湘北短期大学 講師担当に就任して」

2016年9月より、神奈川県厚木市にある湘北短期大学にて非常勤講師となり、「商品・販売企画論」というマーケティング系の講座を担当しています。毎週月曜日、冬の時期はまだ真っ暗な朝5時30分に起きて、自宅のある逗子から大学まで向かい、朝一番に講義を行っています。講義は週1回の全15回で、内容は全て上田の経験に基づいたオリジナルの構成となっています。中小企業経営者向けセミナー

一等で講師をすることは年に何回もありますが、学生を相手にした講義はやはり勝手が違います。卒業を控えた2年生が社会に出てから役立つようなコンテンツを盛り込みながら、毎週追われるように講義内容を考えるのはなかなかハードですが、興味深く講義を聞いてくれる学生がいると、やりがいを感じます。(会員 上田 和成)

### 「平成28年度忘年会の開催」

神奈川販売士協会の平成28年度忘年会は、12月11日(日)午後5時30分から午後8時まで、横浜駅西口の手羽先唐揚料理専門店「鳥良 横浜駅西口店」で開催されました。忘年会は、今年当協会に加入した2名を含めて10名が参加し、会長の乾杯の音頭で始まりました。

料理は、専門店のお勧めのコース料理で、四種野菜のセーロ蒸し、温絹仕込豆腐、刺身五種姿造り盛り、秘伝手羽先唐揚、鶏の味噌すき鍋など、とてもおいしくいただきました。また、お酒も、各自が、ビール、ワイン、ウイスキー、日本酒、緑茶、ジュースなど好きな飲み物を自由に注文し、ほろ酔い気分となりました。会話も、神奈川販売士協会や日本販売士協会の活動状況、好きなお酒や趣味などそれ

ぞれが興味のある話題で弾みました。



楽しい時間もあっという間に過ぎ、来年の皆さんの健康と更なる活躍を祈念して、一本締めでお開きとなりました。平成29年度はさらに多くの会員の方々の参加を期待いたします。

(会員 小川 秀則)

### 「馬車道商店街 150周年に寄せて」

馬車道商店街は、横浜開港以来の商店街としてガス灯、アイスクリームなど多くの発祥の地2017年で150周年を迎えた。

横浜・馬車道、なんてノスタルジアな響きなのだろうか。この街の名を聞くと、いつもそう思う。そして、文明開化、異国の香り、ハイカラ、そんな言葉がすぐ浮かんでくる。

日本の近代化は、西欧文明化そのものだったと言って良い。江戸末期から明治、大正と、その西欧文明の玄関口となって、日本の近代化に大きく貢献してきたのが横浜港だった。現在の「馬車道商店街」通りには、その面影がたくさん残されている。

ペリーの黒船が大砲を鳴らして江戸幕府に開国を迫ったのが1853年。その頃の日本人の気分をよく表わしているのが、狂歌『泰平のねむりをさます 上



喜撰(蒸気船) たった四はい(四隻)で、夜も眠れず』だろう。そして、1859年に横浜港が開港し、1867年にこの馬車道は造られている。その1年後の1868年が明治維新だ。

開港したばかりの頃の横浜は、侘しい小さな漁村だったという。その道路事情は、馬車も通れないほど狭く、ぬかるみ、デコボコだったに違いない。そこに、馬車専用の道路が忽然と出現することになる。居留地に住む外国人の強い要請があつてのことらしい。馬車道は、当時横浜港への出入りの関門だった「吉田橋」から船着場までを一直線に結ぶように敷設されている。現在のみなとみらい線「馬車道駅」から地下鉄「関内駅」を結ぶ辺りだ。この敷設によって、貿易輸出入品の運送効率は俄然とアップしただろう。同時に、馬車が盛んに往来するその全く新しい道の景観は、スピード感にあふれ、当時の日本人にとってはたいへんな驚きだったに違いない。



まさに、この異国情緒あふれる馬車道の出現は、文明開化の幕開けの瞬間であり、日本の近代化への第一歩を象徴する出来事でもあった。そして、西欧文明の通り道となったこの馬車道には、落とし土産のようにたくさんの「日本初」が出現していくこととなる。

まず、1869年(明治2年)、木造だった「吉田橋」は、日本初の鉄骨造で柱脚の無い橋に変身し、「かねの橋」と呼ばれ親しまれるようになる。馬車の往来に耐え得る強固な橋にする必要があつたのだろう。現在、吉田橋は、馬車道と伊勢佐木モールの結末点になっている。そして、「吉田橋」のふもとから東京へ、2頭だて6人乗りの日本初の乗合い馬車が走るようになったのもこの頃だ。横浜と東京を約4時間で結ぶこの交通機関の登場も、当時の日本人にとっては画期的な出来事だったに違いない。日本で初めて街路にガス灯(写真)が設置されたのも、この馬車道だ。柱部は英国グラスゴーから輸入し、灯具は日本で作られたらしい。1872年(明治5年)のことだ。その明るさは、横浜の漁師たちにとって、「キリシタンの魔法」とうわさされるほどに恐怖と驚きのまじりだつたという。

馬車道のガス灯は、まさに「文明の光」そのものだったろう。現在、横浜市民文化会館前に、当時のガス灯が復元されていて、実際にその灯りを体験できる。この他にも、「イギリスからやってきたガス灯たち」と銘のある19世紀ロンドンの街路灯のモ

デルが再現されていて、ノスタルジックなガス灯の明かりが夜の馬車道を灯している。



馬車道商店街は、大人の本物の街をテーマに、まちづくりが行われてきた。こうした、方向性は今後も継承し、地区内へと広げていく必要がある。また、チェーン店の増加により失われつつある街の個性については、街の特徴をつくる魅力のある店舗の立地誘導を行い、リピーターを生む構造を確立する必要がある。

加えて、この地区の商業集積の多くが、比較的商圈の小さな地域密着型の店舗であることを考えると、地区の(新)住民、働く人のニーズに対応した商品、サービスの提供が不可欠である。

開港時からの歴史を持ち、横浜市の中でも極めて特色のあるこの地区においては、1980年代から取り組まれてきた歴史を生かしたまちづくりの方向性を継承し、歴史資産の活用を積極的に進める。また、近年の芸術文化創造都市の取り組みの中で、馬車道を中心とした、関内西地区は、芸術文化活動の場としての役割も期待されている。創作活動の場、発表の場として、街を活用すると同時に、芸術文化の街としてのイメージプロモーションを積極的に行っていく必要性を感じる。

オフィス街、商店街、居住地、芸術文化の街という多面的な性格を持つ関内西地区を活性化していくためには、地区に関わる人々の交流、顔のみえる関係づくりが必要である。交流を促進する仕掛けとしてのコミュニケーションの場づくりが必要とされている。また、こうした交流を通してまちづくりに関わる人材の発掘・育成を進めていくことが、馬車道商店街が今後次の150年を迎えるための課題である。(理事 企画担当 鹿又 和弘)



## 新入会員紹介

「わたくし、15年前に販売士2級を取得し、今年で3回目の更新となります。長らく、メーカー営業をしHCやSMのバイヤー商談が主な仕事でしたが、現在は家庭の事情で異業種の仕事をしています。

ペーパー販売士の状態にあります。微力ではございますが、神奈川販売士協会のお役に立てればと考えております。」

(会員 柳原 真一)

### 「会員 国分悦子氏の逝去を悼む」

会員の国分悦子氏が平成28年10月3日、すい臓がんで逝去されました(享年57歳)。国分さんは、夏頃から体調を崩され、8月に入院されたそうですが、あまりにも早い逝去の報にとにかく驚きました。国分さんは、平成22年4月から6月にかけて行った「離職者職業訓練講座(流通マネジメント科)」講師として参加され、神奈川販売士協会の講師6名と一緒に指導を行ったのがきっかけで、同4月7日に入会されました。ラッピングコーディネーターの指導も行われていました。神奈川販売士協会主催の講習会でも講師を担当していただきましたが、併せて、平成24年より、ソニー学園湘北短期大学で「初級販売士総論」を担当していました。今後も益々活躍していただけると期待していた方であり、本当に残念でなりません。国分悦子様のご冥福を心よりお祈りいたします。(会長 菅原 潤一)

### 第14回総会開催(5月14日)のお知らせ！！

1) 第14回総会：平成29年5月14日(日)に開催を予定しています。

(1) 場所：「神奈川県立地球市民かながわプラザ(あーすプラザ)」

URL：<http://www.earthplaza.jp/guide/use.html>

〒247-0007 横浜市栄区小菅ヶ谷1-2-1 電話：045-896-0070

(2) 時間：14:30～15:20(受付開始：14:00)

(3) アクセス：JR根岸線 本郷台下車 徒歩5分(JR大船駅にてJR根岸線に乗り換え、一つ目の駅)

2) 総会后、下記を行います。

- ・第一部=エアポートトレーディング株式会社 代表取締役社長 丸橋 弘和氏 講演予定。「テーマ未定」(同会議室)：15:30～16:50(質疑応答含む)
- ・第二部：「懇親会」(同所2階の「レストラン・メルヘンを予定)：17:00～19:00 費用：有料  
(詳細は会員の皆様に4月ごろにご連絡します。尚、当協会ホームページにも掲載します。

### — 編集後記 —

年明け早々にショッキングな出来ことがあった。2016年好きなアーティストランキングで2位、いきものがかりの活動休止(放牧宣言)だ。地元神奈川厚木出身・海老名出身なので好きなアーティストの一组で、いきものがかりといえば……。今では春の定番曲とも言われている「SAKURA」のシングル曲で2006年にメジャーデビューを果たしたことで一気に人気のついたバンドアーティスト！男性2人、ヴォーカルの女性1人というバンドはなかなか珍しい。マーケティングの観点から言うと、CDを出せば売れるだけに活動休止は音楽業界にとって痛手である。昨年は、日本レコード大賞を逃した。今年は一層の活躍が期待させていただきだけに残念な気持ちがあるが同時に同世代として10年間お疲れ様でしたと言いたい。そして活動再開の年月をゆっくり待ちたい。

今年で、神奈川販売士協会は14年目を迎えます。西年にあやかり当協会としても、翼を大きく広げ天高く舞うワシやタカのように、羽ばたき、飛翔する年にして来年の創立15周年を迎えたい。そのためには会員1人1人の行事、研究会への参加が重要となってきます。会員の積極的な参加を宜しくお願い致します。登録講師の交流はもとより、各地協会同士の交流や情報交換なども、神奈川販売士協会は積極的に行っていきたいと考えておりますので神奈川方面へお出かけの際にはお声かけ宜しくお願い致します。

神奈川県商工会議所連合会をはじめ販売士検定を実施している県下商工会議所の関係者皆さまのご協力に感謝するとともに、今後も本会報を情報発信の場として充実させていきたいと思っております。

協会事務局 〒247-0006 横浜市栄区笠間3-45-1-1004 菅原潤一

Tel/FAX：045-896-0183 E-mail：jsuga@ii.em-net.ne.jp

編集担当・鹿又和弘 [携帯] 090-7720-4478 E-mail [kano0711.jp@yahoo.co.jp](mailto:kano0711.jp@yahoo.co.jp)

